

真夜中のダンサー (1994)

MIDNIGHT DANCERS
SIBAKU

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フィリピン

色彩 Color

時間 115分

初公開日 1996/06/22

公開情報 スタンス・カンパニー＝E N Kプロモーション

【解説】

フィリピン映画を観ていると、彼の国はカソリックの国ではあるがゲイには寛容な国柄と察せられる。それほどに、例えば、リノ・ブロッカの「スター誕生」（未公開）のような旧作でも、そのような描写は大胆にみられる（ましてや、彼の大作「マニラ・光る爪」においてはオリジナル脚本になかった男娼の挿話が彼のアイデアで混入されている！）。そして、この作品はそのブロッカがやはり、同じような肉体を売り物にする男性を取り上げた、88年の「マッチョ・ダンサー」（未公開）の続編とも言える映画で、彼の助監督を長く務めたチョンローが、師匠譲りの官能的で力強い映像美の佳作に仕上げた。

舞台はマニラの夜を彩るゲイ・クラブ。貧しい家庭に育った3人の兄弟は、家計を助けるためみなそこでダンサーとして働くようになる。もちろん、話次第では客とベッドを共にする仕事だ。実は妻子もある長男が、彼を真剣に慕うエリート男性との関係が続けて行くべきか悩む一方で、金のため割り切って次から次へ客に身を預ける次兄は悪い仲間と窃盗事件を重ねてもいる。最初そうした生活に抵抗を覚えていた三男もやがてその水に馴染んでいく……。上記に挙げた作品同様、本作もゲイであること、そこへの越境を極めてナチュラルに捉える点において特徴的であり、怖いもの見たさ的ないやしさは微塵も感じさせないのが清々しい。

【クレジット】

監督	メル・チョンロー	Mel Chionglo
製作	リチャード・タン	Richard Tang
脚本	リカルド・リー	Ricard Lee
撮影	ジョージ・ツターネス	George Tutarses
音楽	ノノン・ブエンカミノ	Nonong Buencamino
出演	アレックス・デル・ロサリオ	Alex Del Rosario
	ガンドン・セルバンテス・Jr	Gandong Cervantes, Jr.
	ローレンス・ダヴィッド	Lawrence David